

目的

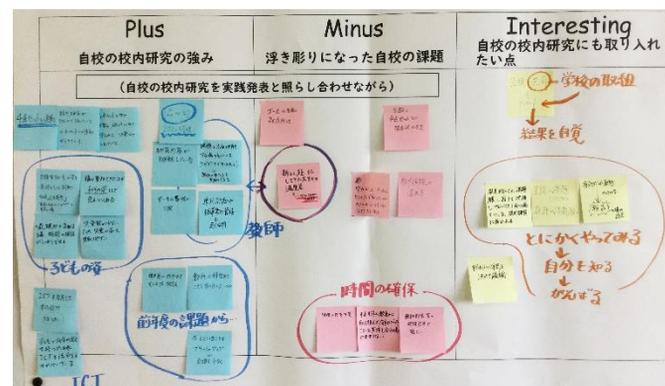
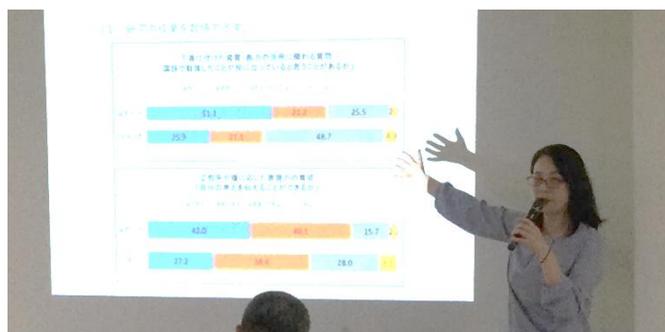
管内小・中学校の教務主任等に対して、今年度の授業改善の重点を確認し、学力向上に係る各校の教育目標達成を目指す校内研究の進め方に関する説明・発表・研究協議等を通して、組織的な授業改善の推進に資する。

期日  
会場

令和7年5月8日(木)13:30~16:30  
 県佐伯総合庁舎(大会議室) 36名出席(各学校教務主任及び研究主任等)

内容

- 1 説明「佐伯管内の課題と今年度の授業改善の重点」
  - ・昨年度定期学校訪問から見えた課題
  - ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善  
 (単元構想、ねらいと評価規準の整合性、校内研修の充実、ICTの有効活用)
  - ・特別支援教育の視点からの組織的な授業改善  
 (個別の指導計画推進教員の活用)
- 2 発表「学校の教育目標達成を目指す校内研究の進め方」  
 <発表者>  
 佐伯市立佐伯小学校指導教諭 山田真由美 先生  
 佐伯市立佐伯城南中学校教諭 岩矢 隆史 先生
- 3 演習・研究協議「学校の教育目標を達成するための校内研究の見通し」  
 PMIシートをつかって、自校の校内研究の見通しをもつ



【協議会後の参加者の声】※抜粋

【参加者による協議会全体評価】 3. 8(4段階法)

- 新任研究主任として、校内研究の進め方に戸惑うことも多いが、今回の研修を通して、1年間の研究の流れをイメージすることができた。
- 発表を通して、実践事例を紹介してもらえたので、自校の実践に役立つアイデアを得ることができた。「いろいろするのではなく、焦点化して取り組む」ことが大切だと分かった。
- 「研修は大変」という意識からの脱却を図り、子どもの変容する姿を見て幸せを感じ、みんなで研究を進めていきたいと思うことができた。
- 4点セットと研究主題を連動させるという視点で校内研究を見直していきたいと思った。
- 他校の教員との研究協議を通して、自校の取り組みに新しい視点を取り入れることができた。